米国経済展望

2022年11月

株式会社日本総合研究所

調査部　マクロ経済研究センター

https://www.jri.co.jp/report/medium/usa/

目次

◆概況 …… p. 1

◆トピックス①：ねじれ議会が金融市場を通じて景気を下押す懸念 …… p. 3

◆トピックス②：先行き早期退職者の復職が賃上げ圧力を緩和へ …… p. 4

◆米国景気・金利見通し …… p. 5

◆Fed Watch：利上げ幅を縮小しても、引き締め姿勢は不変 …… p. 6

<メルマガ>

<Twitter>

調査部 マクロ経済研究センター（欧米経済グループ）

研究員　栂野裕貴　　Tel：070-3344-2620　Mail：togano.yuki@jri.co.jp

◆本資料は2022年11月16日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

◆日本総研・調査部の「経済・政策情報メールマガジン」は下記URLから登録できます（右側QRコードからもアクセスできます）。
新着レポートの概要のほか、最新の経済指標・イベントなどに対するコメントや研究員のコラムなどを随時お届け致します。
https://www.jri.co.jp/company/business/research/mailmagazine/form/

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがあります。本資料の情報に基づき起因してご閲覧者様及び第三者に損害が発生したとしても執筆者、執筆にあたっての取材先及び弊社は一切責任を負わないものとします。

景気概況：３四半期ぶりのプラス成長に

◆足元の景気は堅調

米国景気は回復を持続。７～９月期の実質ＧＤＰ成長率は前期比年率＋2.6%と、３四半期ぶりのプラスに。需要項目別にみると、住宅投資は大きく減少した一方、純輸出や個人消費、設備投資などが全体を押し上げ。

◆個人消費は底堅く推移

７～９月期の実質個人消費は前期比年率＋1.4%と増勢を維持。内訳をみると、財は耐久財・非耐久財ともに減少した一方、サービスはコロナ禍からのリバウンドが続く輸送や飲食・宿泊などを中心に増加。

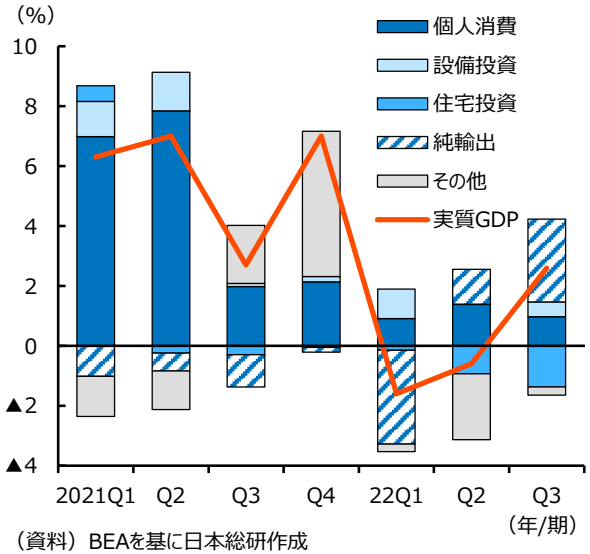
先行きの個人消費も緩やかな増加を続ける見通し。コロナ禍で積み上がった過剰貯蓄の取り崩しに加え、良好な雇用環境が消費の下支えに。10月の失業率は3.7%と低位で推移しているほか、解雇率もコロナ禍前を下回る水準。

◆住宅投資は減少基調

住宅市場は調整局面。７～９月期の実質住宅投資は前期比年率▲26.4%と大幅に減少。足元で７%を超える住宅ローン金利が、住宅需要を抑制したことが主因。

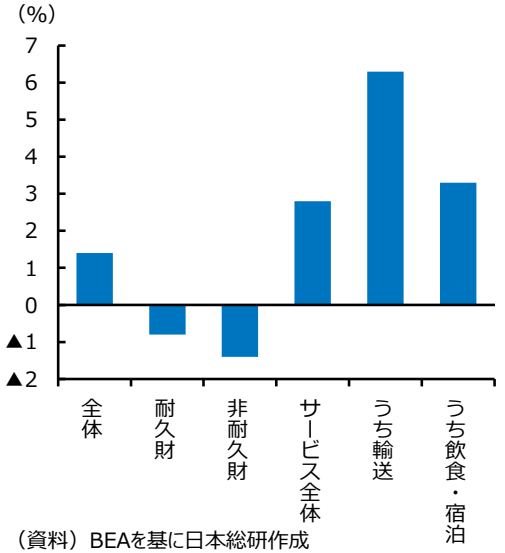
先行きも、住宅市場の調整は続く公算大。建設業者の景況感を示すＮＡＨＢ住宅市場指数は低迷が続いているほか、高水準の住宅ローン金利や住宅価格が家計の住宅購入を抑制する見込み。

実質ＧＤＰ成長率（前期比年率）



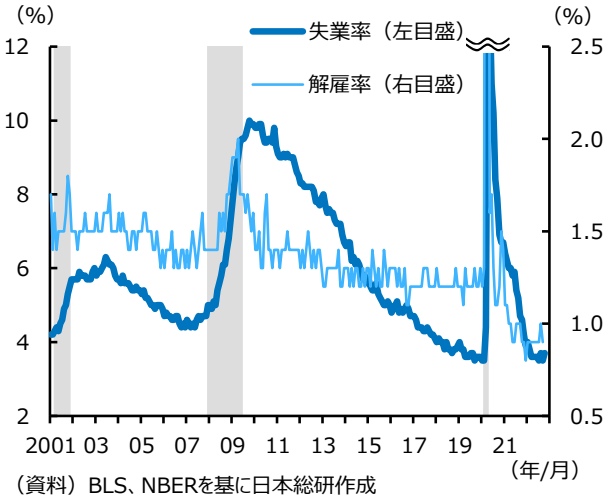
（資料）BEAを基に日本総研作成

７～９月期の実質個人消費（前期比年率）



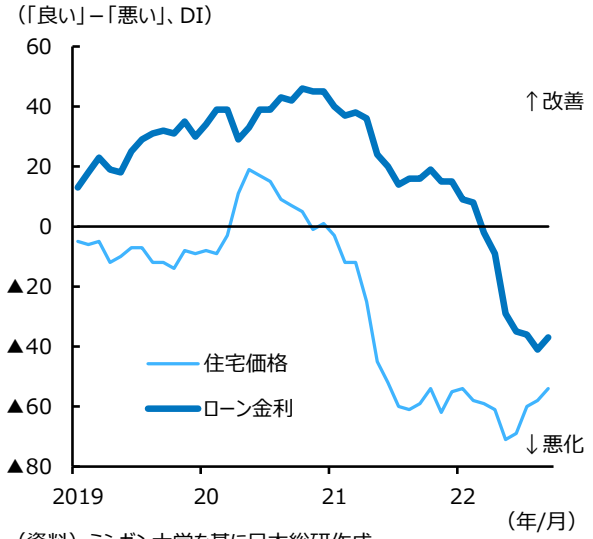
（資料）BEAを基に日本総研作成

失業率と解雇率



（資料）BLS、NBERを基に日本総研作成
（注1）解雇率は、解雇者数（レイオフ含む）/雇用者数で算出。
（注2）シャドーは景気後退期。

家計の住宅購入判断に影響する要因



（資料）ミシガン大学を基に日本総研作成

景気概況：設備投資は堅調

◆エネルギーとデジタルがけん引

７～９月期の実質設備投資は前期比年率＋3.7%と高い伸び。内訳をみると、構築物は６四半期連続で減少した一方、機械やソフトウェアを含む知的財産が大きく増加。

先行き、高水準の企業収益を原資に設備投資は引き続き増加する見通し。以下の２つの分野が今後の設備投資をけん引すると予想。

第１に、エネルギー関連投資。資源高による採算改善やロシア産資源の代替需要を背景に、米エネルギー企業の投資意欲は旺盛。世界的なエネルギーの供給不安が続くなか、米国が資源供給の拠点となりつつあり、能力増強投資が増加する公算大。

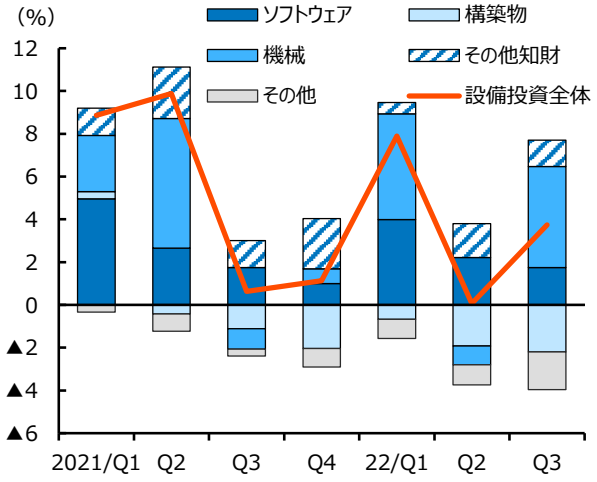
第２に、デジタル化関連投資。テレワークを取り入れた働き方が普及したことで、コンピューターなどの情報処理機械やソフトウェアへの投資はコロナ禍以降に増勢が加速。さらに、こうした品目は陳腐化のスピードが速く、更新投資への需要も大きいため、金利変動の影響を受けにくい性質も。

◆外需がＧＤＰを押し上げ

輸出は堅調。７～９月期の実質輸出は前期比年率＋14.4%と大幅に増加。内訳をみると、インバウンド需要の一服を映じて旅行サービスは伸びが鈍化した一方、エネルギーを含む生産財が大きく増加。

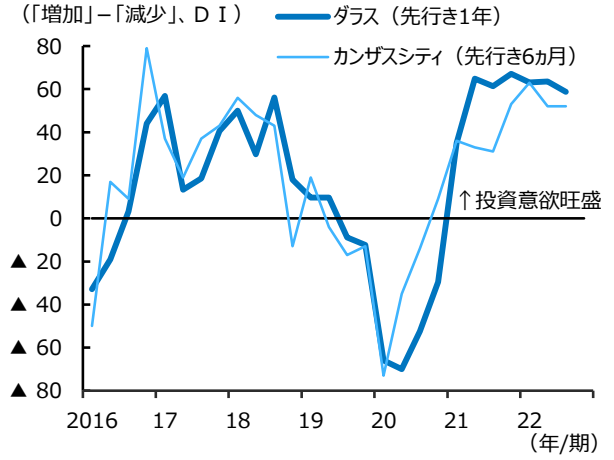
先行きの輸出は高めの伸びを維持する見通し。海外景気減速の影響を受けながらも、エネルギー関連輸出は増勢を維持するほか、景気変動の影響が小さい飲食料品などが全体を下支えすると予想。

実質設備投資（前期比年率）



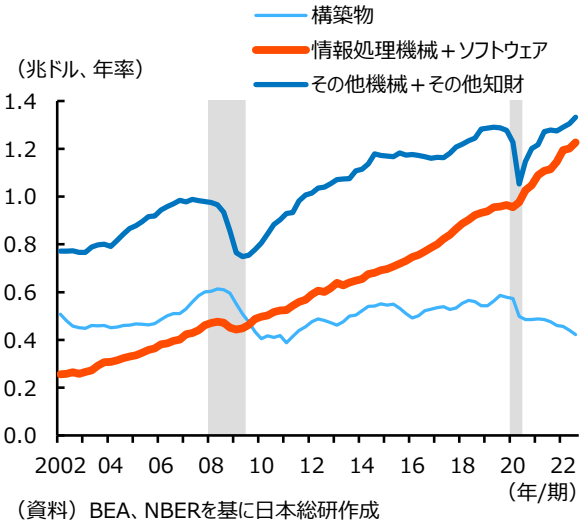
（資料）BEAを基に日本総研作成
（注）その他は、統計上の誤差など。

エネルギー企業による設備投資の見通し



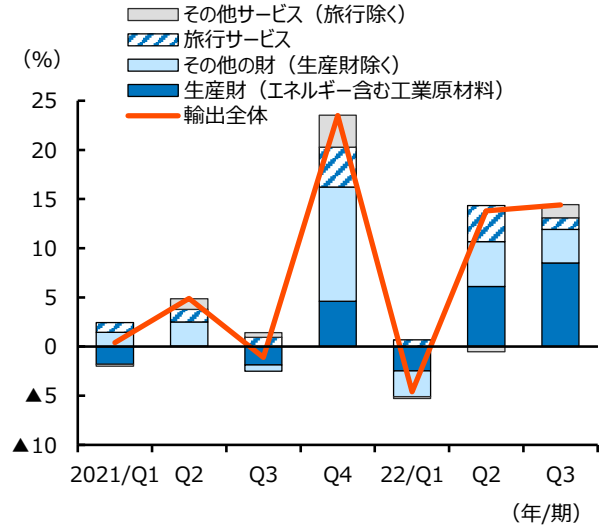
（資料）ダラス連銀、カンザスシティ連銀を基に日本総研作成
（注）各連銀地区の石油・ガス企業へのサーベイに基づく。対象は、ダラス：105社（油田サービス業除く）、カンザスシティ：32社。

実質設備投資額の推移



（資料）BEA、NBERを基に日本総研作成
（注）シャドーは景気後退期。

実質輸出（前期比年率）



（資料）BEAを基に日本総研作成

トピックス①：ねじれ議会が金融市場を通じて景気を下押す懸念

◆中間選挙を受け、来年以降はねじれ議会に

11月８日に実施された中間選挙の結果、上院で民主党が多数派を維持した一方、下院では共和党が過半数を確保。そのため、来年１月以降の議会構成は上下両院の多数派が異なる「ねじれ議会」となる見通し。

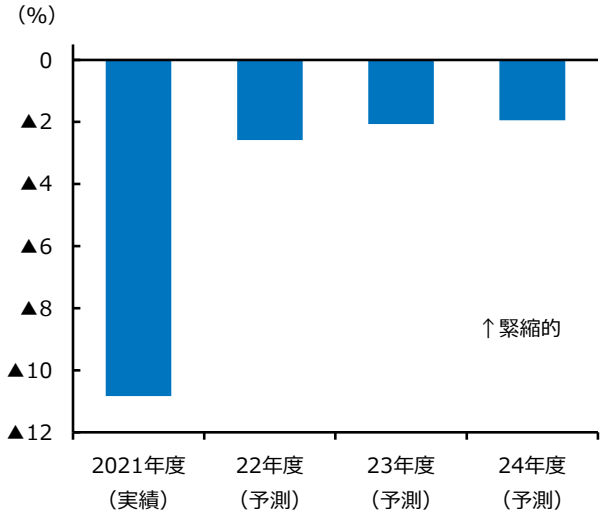
◆財政を巡る影響を注視

ねじれ議会が米国景気に与える影響として、以下の２点が指摘可能。

第１に、財政出動の抑制。ねじれ議会では、法案審議が進まず、財政支出を伴う新規の政策立案は停滞する傾向。景気が減速するなかでも機動的な財政出動は困難となり、結果として緊縮的な財政運営となる見通し。

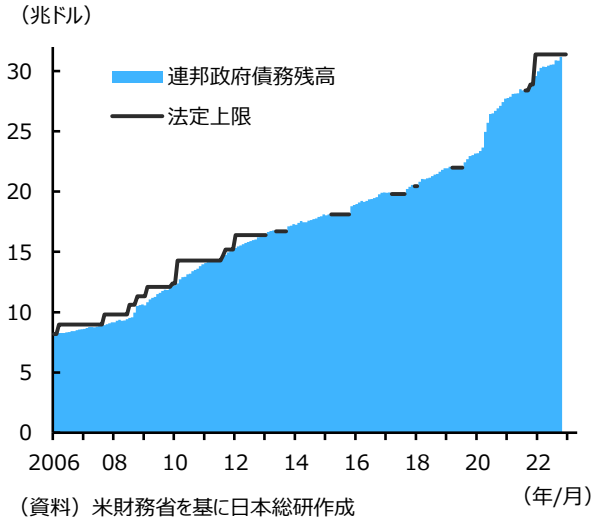
第２に、金融市場の混乱を通じた景気の下振れ。来年には、政府債務残高の上限引き上げが必要となる見通し。党派対立により関連法案の成立が難航すれば、米国債の債務不履行（デフォルト）リスクが意識される可能性。実際、2011年には、オバマ政権下のねじれ議会で協議が難航したことを受け、米国債の格付けが引き下げられ、金融市場が混乱。デフォルトが回避されたとしても、不確実性の高まりは景気にマイナス。アトランタ連銀の試算によれば、金融市場の変動が大きい場合のＱＴ（量的引き締め）による景気下押し効果は、通常の３倍に増幅。

政府の基礎的財政収支（名目ＧＤＰ比）



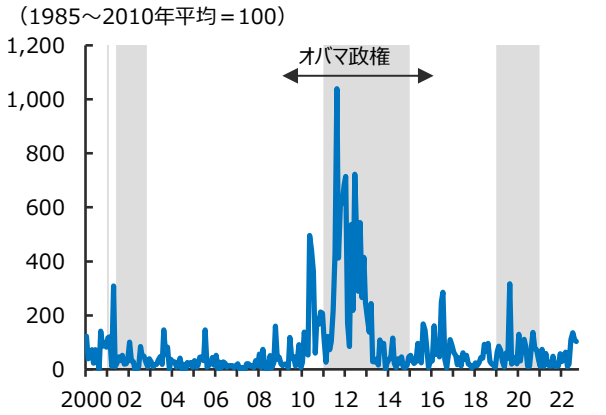
（資料）CBO（2022）"Budget and Economic Outlook"

連邦政府債務残高と法定上限



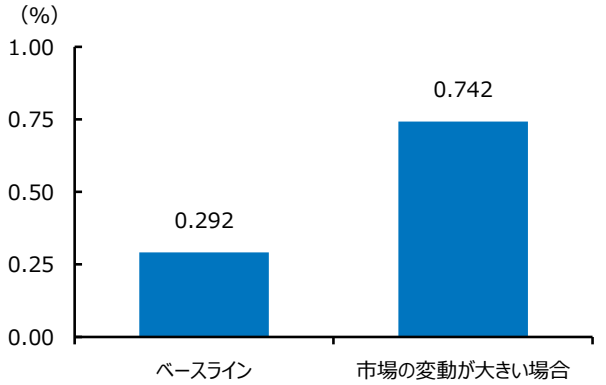
（資料）米財務省を基に日本総研作成
（注）法定上限の無い期間は、債務上限の適用停止期間。

経済政策不確実性指数（公的債務関連）



（資料）Economic Policy Uncertainty
（注1）指数は新聞記事を基に経済政策の不確実性を測定したもの。
（注2）シャドーはねじれ議会の時期。議員の政党変更や死去により、議会選挙の結果と一致しないことがある。

ＱＴによる引き締め効果（利上げ幅換算）



（資料）アトランタ連銀（2022）を基に日本総研作成
（注1）25年6月にかけて2.2兆ドルのバランスシート圧縮を行う場合。
（注2）ベースラインは、99年1月～22年3月の平均的な市場環境。
市場の変動が大きい場合は、10年債利回りのボラティリティが４割増加した場合。

トピックス②：先行き早期退職者の復職が賃上げ圧力を緩和へ

◆労働供給の回復に遅れ

労働供給の回復は停滞。労働参加率は、持ち直しが続いてきたものの、10月に62.2%と依然としてコロナ禍前を下回る水準。この背景として、中高年層の労働市場への復帰が進んでいないことが指摘可能。年代別の労働参加率をみると、55歳以上の中高年層はコロナ禍前を▲1.5%ポイント下回る水準で低迷。

◆早期退職者は徐々に復職する公算

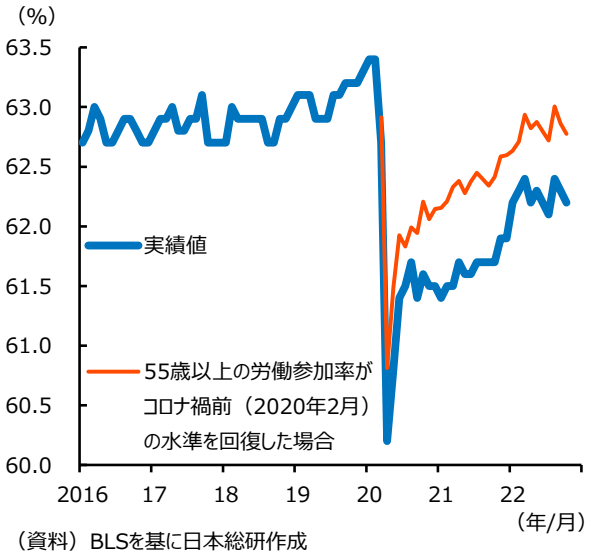
先行き、早期退職者の一部は職探しを再開すると予想。資産価格の調整を受け、家計が保有する資産の価値が減少していることが背景。金融引き締めにより年前半に株価が下落したことを主因に、55～69歳が保有する純資産は昨年末から３兆ドル減少。住宅価格の下落を踏まえると、保有不動産の価値も夏場から目減りしている可能性。

早期退職者の復職は労働需給を緩和させる公算大。試算によると、早期退職した中高年層が労働市場に復帰した場合、労働参加率は0.5%ポイント上昇し、労働力人口は140万人増加。

◆早期退職者の復職は賃金上昇率を下押し

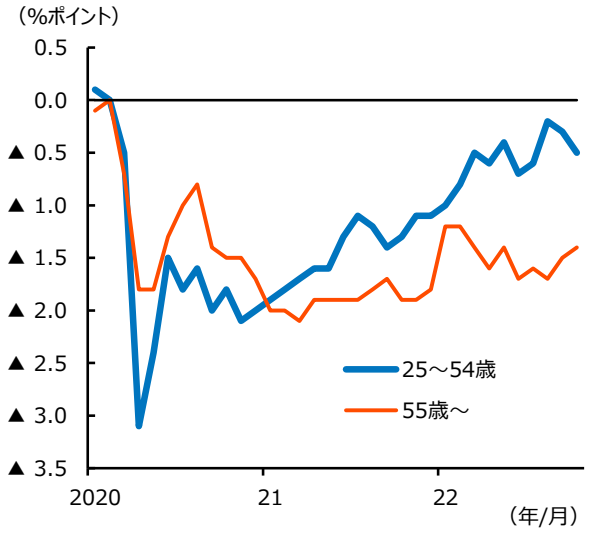
労働供給の拡大は、賃金上昇圧力を和らげる公算大。増加した労働供給がすべて未充足の求人に吸収されると仮定した場合、求人倍率は足元の水準（1.9倍）から▲0.2～0.3倍下振れ。求人倍率と賃金上昇率の正の相関関係を踏まえると、早期退職者の復職は賃金上昇率を前年比で0.3～0.5%ポイント下押し。

労働参加率のシミュレーション



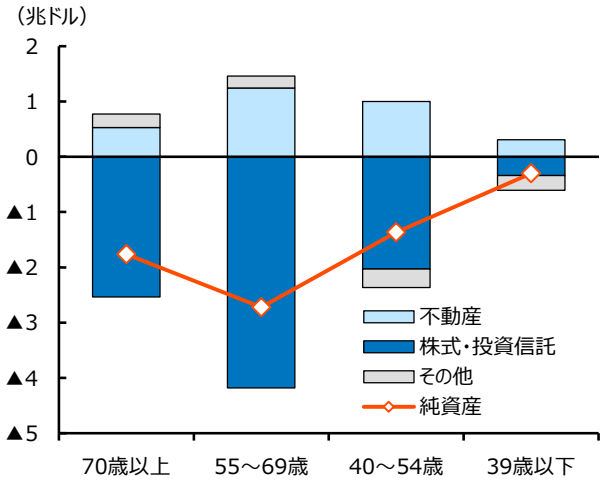
（資料）BLSを基に日本総研作成

年代別の労働参加率（2020年２月対差）



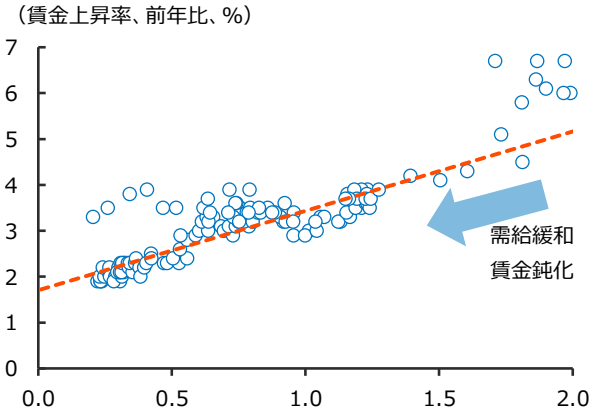
（資料）BLSを基に日本総研作成

家計の保有資産の増減額（年齢層別）



（資料）FRBを基に日本総研作成
（注）利上げ開始前（21年Q4）から直近（22年Q2）の変化幅。

求人倍率と賃金上昇率の関係



（求人倍率、失業者数に対する求人件数の比率、倍）
（資料）BLS、アトランタ連銀を基に日本総研作成
（注）2011年～。賃金上昇率はアトランタ連銀の賃金トラッカー（中央値）。トレンド線はコロナ禍前（～20年2月）に基づく。

米国景気・金利見通し：景気は減速も、プラス成長を維持

◆景気は減速する見通し

米国景気は減速する見通し。高インフレや政策金利の引き上げが景気を下押し。ただし、底堅い雇用環境や積み上がった貯蓄の取り崩しが個人消費の支えとなるほか、堅調な輸出が景気を下支えすることで、１％前後のプラス成長を維持すると予想。

◆長期金利は高水準で推移

ＦＲＢは、インフレ抑制に向けて積極的な金融引き締め姿勢を維持する見通し。政策金利は、次回12月の会合で0.50%ポイント引き上げられ、その後も来年３月まで連続利上げ。５％で当面据え置かれると予想。加えて、バランスシートを縮小する量的引き締め（ＱＴ）も継続。ＱＴは、２年から２年半程度かけて完了の見込み。

長期金利は、インフレ警戒感や金融引き締めが上昇圧力となる一方、景気後退懸念が下押しする結果、当面は横ばい圏での推移となる見通し。

米国経済・物価見通し

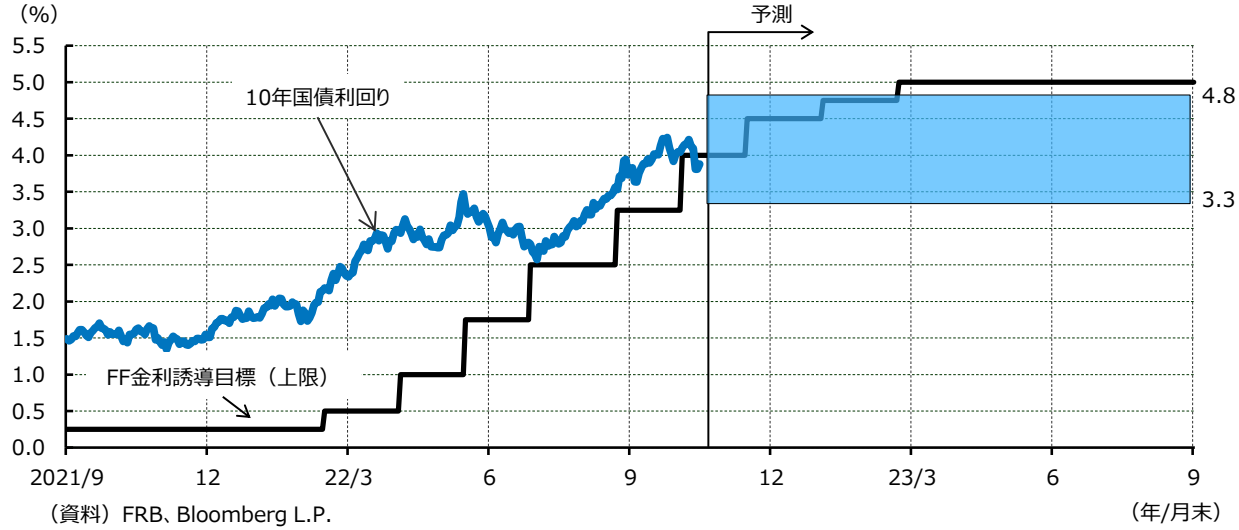
（四半期は季調済前期比年率、%、%ポイント）

	2021年	2022年				2023年			2021年	2022年	2023年
	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9			
	（実績）				（予測）				（実績）	（予測）	
実質ＧＤＰ	7.0	▲ 1.6	▲ 0.6	2.6	1.3	1.1	0.8	0.8	5.9	1.9	1.1
個人消費	3.1	1.3	2.0	1.4	1.3	1.1	0.9	0.8	8.3	2.6	1.2
住宅投資	▲ 1.1	▲ 3.1	▲ 17.8	▲ 26.4	▲ 12.8	▲ 4.3	▲ 1.1	0.4	10.7	▲ 9.7	▲ 8.5
設備投資	1.1	7.9	0.1	3.7	2.8	2.8	2.5	2.6	6.4	3.5	2.6
在庫投資（寄与度）	5.0	0.2	▲ 1.9	▲ 0.7	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 0.1	0.0	0.2	0.6	▲ 0.4
政府支出	▲ 1.0	▲ 2.3	▲ 1.6	2.4	0.9	0.8	0.7	1.0	0.6	▲ 0.9	0.9
純輸出（寄与度）	▲ 0.2	▲ 3.1	1.2	2.8	0.6	0.1	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 1.7	▲ 0.6	0.5
輸出	23.5	▲ 4.6	13.8	14.4	5.6	3.9	2.8	2.7	6.1	7.7	5.6
輸入	18.6	18.4	2.2	▲ 6.9	0.4	2.2	3.0	3.6	14.1	8.5	1.1
実質最終需要	4.1	0.8	1.8	2.3	1.5	1.5	1.3	1.3	6.7	2.4	1.5
消費者物価	6.7	8.0	8.6	8.3	7.4	5.7	3.6	3.0	4.7	8.1	3.7
除く食料・ｴﾈﾙｷﾞｰ	5.0	6.3	6.0	6.3	6.0	5.0	3.9	3.2	3.6	6.2	3.7

（資料）BEA、BLSを基に日本総研作成

（注）在庫投資、純輸出の年間値は前年比寄与度、四半期値は前期比年率寄与度。消費者物価は前年（同期）比。

米国金利見通し



（資料）FRB、Bloomberg L.P.

Fed Watch：利上げ幅を縮小しても、引き締め姿勢は不変

◆ＦＲＢは利上げペースの鈍化を示唆

ＦＲＢは、11月のＦＯＭＣで政策金利を0.75%ポイント引き上げ。大幅な利上げを実施した一方、声明文や会合後の記者会見において、パウエル議長は先行きの利上げペースを落とす可能性を示唆。

こうした方針が示された背景として、景気を過度に悪化させることへの懸念が指摘可能。既往の引き締め効果が実体経済や物価へ波及するまでにはタイムラグが存在。政策金利がＦＯＭＣ参加者が想定する中立金利を大きく上回っており、先々引き締め効果が予想以上に強まる可能性があるため、今後の政策に柔軟性を持たせる狙い。

インフレ動向を左右する労働市場では、需給ひっ迫に緩和の兆しも。非農業部門雇用者数の伸びが前月から鈍化するなど、労働需要が抑制されるなか、賃金上昇率は前年比＋4.7%と低下基調。足元の伸びが先行きも続くと仮定した場合、賃金上昇率は来年後半に前年比＋３%台まで低下する見込み。このため、次回12月の会合では、利上げ幅は0.5%ポイントにとどめると予想。

◆金融引き締め姿勢は不変

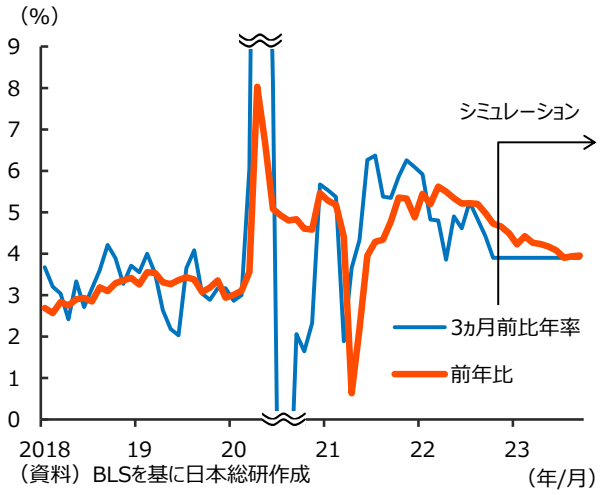
ただし、こうした利上げペースの減速は緩和スタンスへの転換を意味せず。今回の会合では、利上げペースの減速と同時に、ターミナルレート（政策金利の最終到達水準）を９月のＦＯＭＣの金利見通しから引き上げることも示唆。サービス主導でインフレ率が高止まりしており、期待インフレ率が上振れるリスクがあることを踏まえると、ＦＲＢは引き締め的なスタンスを当面維持する公算大。

ＦＯＭＣ声明文とパウエル議長会見の要旨

物価	・インフレ率は高止まり
	・高インフレが長引けば、長期の期待インフレ率が高水準で定着するリスクは増大
	・期待インフレ率が上振れると、企業の賃金設定プロセスに影響を与える可能性
政策運営	・さらなる利上げ継続が適切
	・ターミナルレートは、9月会合時点の想定よりも高くなる可能性
	・いずれ、利上げペース減速が適切
	・利上げペースを決めるうえでは、①既往の金融引き締めによる累積的な効果、②金融政策が景気・物価に影響を与えるまでのタイムラグ、③経済・金融情勢を考慮
	・量的引き締め（QT）は計画通り継続

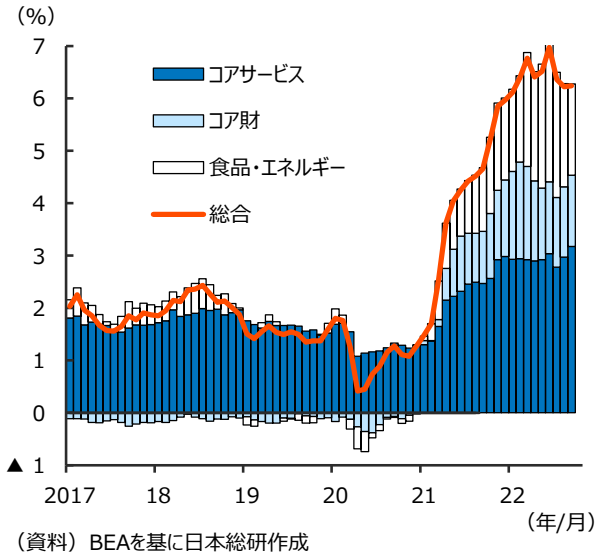
（資料）FRBを基に日本総研作成

賃金上昇率（民間部門、平均時給）



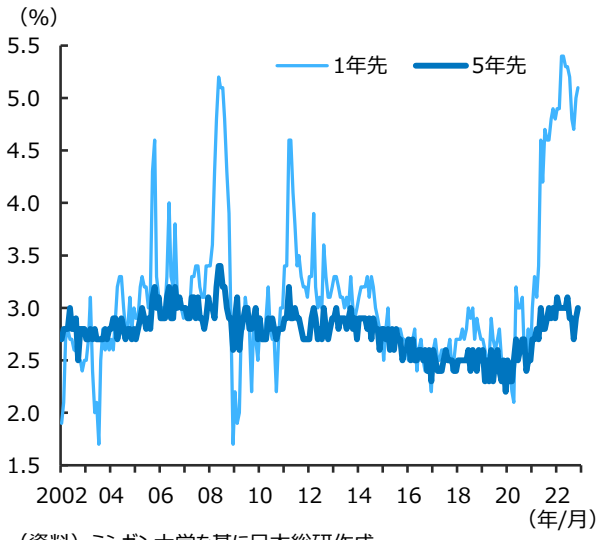
（資料）BLSを基に日本総研作成
（注）シミュレーションは、足元の伸び（3ヵ月前比年率）が先行きも続いた場合の前年比の推移。

ＰＣＥデフレータ（前年比寄与度）



（資料）BEAを基に日本総研作成

家計の期待インフレ率（中央値）



（資料）ミシガン大学を基に日本総研作成

内外市場データ（月中平均）

	為替相場			国内市場				米国市場					欧州市場					商品市況	
	￥／$ (NY終値)	￥／€ (NY終値)	$／€ (NY終値)	無担O/N (%)	TIBOR 3ヵ月 (%)	国債 10年物 (%)	日経平均 株価 (円)	ＦＦ O/N (%)	LIBOR 3ヵ月 (%)	国債 10年物 (%)	ＮＹダウ 工業株 (ドル)	S&P500	ESTR (%)	EURIBOR 3ヵ月 (%)	独国債 10年物 (%)	英国債 10年物 (%)	ﾕｰﾛ･ｽﾄｯｸｽ50	WTI 原油先物 ($/B)	COMEX 金先物 ($/TO)
19/10	108.16	119.61	1.1057	▲0.0218	0.01	▲0.17	22197.47	1.83	1.98	1.70	26736.80	2977.68	▲0.55	▲0.41	▲0.45	0.62	3551.22	54.01	1494.96
19/11	108.91	120.32	1.1047	▲0.0434	0.02	▲0.09	23278.09	1.55	1.90	1.82	27797.05	3104.90	▲0.54	▲0.40	▲0.33	0.73	3693.14	57.07	1470.21
19/12	109.11	121.26	1.1114	▲0.0376	0.02	▲0.02	23660.38	1.55	1.91	1.86	28167.01	3176.75	▲0.54	▲0.40	▲0.27	0.78	3715.33	59.80	1482.83
20/1	109.28	121.35	1.1104	▲0.0318	0.02	▲0.02	23642.92	1.55	1.82	1.76	28879.99	3278.20	▲0.54	▲0.39	▲0.27	0.67	3758.24	57.53	1559.64
20/2	110.03	120.00	1.0906	▲0.0164	0.02	▲0.06	23180.37	1.58	1.68	1.51	28519.73	3277.31	▲0.54	▲0.41	▲0.43	0.57	3734.92	50.54	1595.63
20/3	107.69	119.08	1.1063	▲0.0469	0.01	▲0.03	18974.00	0.65	1.10	0.88	22637.42	2652.39	▲0.53	▲0.42	▲0.52	0.41	2824.18	30.45	1592.92
20/4	107.80	117.18	1.0871	▲0.0355	▲0.00	▲0.01	19208.36	0.05	1.09	0.65	23293.90	2761.98	▲0.54	▲0.25	▲0.43	0.31	2839.58	16.70	1686.32
20/5	107.22	116.93	1.0906	▲0.0468	▲0.04	▲0.01	20543.26	0.05	0.40	0.67	24271.02	2919.62	▲0.54	▲0.27	▲0.50	0.22	2909.33	28.53	1718.66
20/6	107.61	121.14	1.1258	▲0.0475	▲0.05	0.01	22486.93	0.08	0.31	0.72	26062.27	3104.66	▲0.55	▲0.38	▲0.40	0.23	3237.39	38.31	1736.15
20/7	106.72	122.44	1.1473	▲0.0278	▲0.07	0.02	22529.47	0.09	0.27	0.62	26385.83	3207.62	▲0.55	▲0.44	▲0.46	0.15	3316.29	40.77	1846.37
20/8	106.05	125.44	1.1830	▲0.0352	▲0.07	0.03	22901.45	0.10	0.25	0.65	27821.37	3391.71	▲0.55	▲0.48	▲0.47	0.21	3297.67	42.39	1969.78
20/9	105.61	124.48	1.1787	▲0.0540	▲0.06	0.02	23306.95	0.09	0.24	0.68	27733.40	3365.52	▲0.55	▲0.49	▲0.49	0.21	3260.73	39.63	1923.35
20/10	105.21	123.80	1.1766	▲0.0195	▲0.06	0.03	23451.44	0.09	0.22	0.78	28005.10	3418.70	▲0.55	▲0.51	▲0.57	0.25	3180.39	39.55	1900.36
20/11	104.41	123.60	1.1837	▲0.0321	▲0.06	0.02	25384.87	0.09	0.22	0.87	29124.04	3548.99	▲0.56	▲0.52	▲0.57	0.31	3391.79	41.35	1866.35
20/12	103.76	126.32	1.2173	▲0.0260	▲0.06	0.01	26772.95	0.09	0.23	0.92	30148.58	3695.31	▲0.56	▲0.54	▲0.57	0.26	3530.95	47.07	1860.32
21/1	103.72	126.29	1.2174	▲0.0166	▲0.06	0.03	28189.06	0.09	0.22	1.06	30821.35	3793.75	▲0.56	▲0.55	▲0.53	0.28	3592.23	52.10	1867.28
21/2	105.37	127.44	1.2095	▲0.0154	▲0.06	0.08	29458.80	0.08	0.19	1.24	31283.91	3883.43	▲0.56	▲0.54	▲0.39	0.56	3667.14	59.06	1808.86
21/3	108.72	129.37	1.1900	▲0.0166	▲0.06	0.10	29315.30	0.07	0.19	1.60	32373.29	3910.51	▲0.56	▲0.54	▲0.32	0.78	3813.29	62.36	1721.92
21/4	109.03	130.52	1.1971	▲0.0123	▲0.07	0.09	29426.75	0.07	0.18	1.62	33803.29	4141.18	▲0.57	▲0.54	▲0.28	0.78	3987.29	61.69	1759.47
21/5	109.15	132.61	1.2148	▲0.0172	▲0.07	0.08	28517.09	0.06	0.15	1.61	34270.31	4167.85	▲0.56	▲0.54	▲0.17	0.82	4003.59	65.16	1853.01
21/6	110.15	132.63	1.2040	▲0.0292	▲0.07	0.06	28943.23	0.08	0.13	1.51	34289.91	4238.49	▲0.56	▲0.54	▲0.21	0.76	4105.81	71.35	1832.24
21/7	110.23	130.35	1.1825	▲0.0360	▲0.07	0.02	28118.76	0.10	0.13	1.31	34798.80	4363.71	▲0.57	▲0.55	▲0.35	0.62	4062.61	72.43	1806.04
21/8	109.84	129.27	1.1768	▲0.0338	▲0.07	0.02	27692.73	0.09	0.12	1.28	35243.97	4454.21	▲0.57	▲0.55	▲0.46	0.57	4177.03	67.71	1786.48
21/9	110.17	129.62	1.1765	▲0.0222	▲0.07	0.04	29893.57	0.08	0.12	1.36	34688.42	4445.54	▲0.57	▲0.55	▲0.30	0.81	4158.29	71.54	1777.65
21/10	113.17	131.28	1.1599	▲0.0275	▲0.07	0.08	28586.20	0.08	0.13	1.58	35055.52	4460.71	▲0.57	▲0.55	▲0.15	1.10	4132.23	81.22	1776.61
21/11	114.06	130.12	1.1408	▲0.0399	▲0.07	0.07	29370.61	0.08	0.16	1.56	35848.57	4667.39	▲0.57	▲0.57	▲0.25	0.93	4306.35	78.65	1818.75
21/12	113.93	128.84	1.1307	▲0.0256	▲0.05	0.05	28514.23	0.08	0.21	1.46	35641.33	4674.77	▲0.58	▲0.58	▲0.31	0.83	4207.87	71.69	1793.02
22/1	114.86	130.00	1.1318	▲0.0197	▲0.05	0.14	27903.99	0.08	0.26	1.76	35456.14	4573.82	▲0.58	▲0.56	▲0.06	1.17	4252.33	82.98	1816.62
22/2	115.23	130.70	1.1344	▲0.0183	▲0.05	0.20	27066.53	0.08	0.43	1.93	34648.48	4435.98	▲0.58	▲0.53	0.21	1.45	4084.10	91.63	1859.70
22/3	118.70	130.77	1.1016	▲0.0080	▲0.05	0.20	26584.08	0.20	0.84	2.12	34029.74	4391.27	▲0.58	▲0.50	0.33	1.52	3796.60	108.26	1952.06
22/4	126.41	136.53	1.0800	▲0.0120	▲0.05	0.23	27043.33	0.33	1.11	2.75	34314.99	4391.30	▲0.58	▲0.45	0.79	1.82	3837.34	101.64	1937.50
22/5	128.79	136.28	1.0583	▲0.0176	▲0.05	0.23	26653.77	0.77	1.48	2.89	32379.46	4040.36	▲0.59	▲0.39	1.00	1.90	3691.77	109.26	1848.48
22/6	134.15	141.71	1.0564	▲0.0379	▲0.01	0.24	26958.39	1.21	2.00	3.13	31446.71	3898.95	▲0.58	▲0.24	1.50	2.40	3587.62	114.34	1837.20
22/7	136.65	139.15	1.0182	▲0.0122	▲0.01	0.22	26986.74	1.68	2.61	2.89	31535.32	3911.73	▲0.51	0.04	1.14	2.06	3523.29	99.38	1736.97
22/8	135.36	137.02	1.0123	▲0.0182	▲0.02	0.19	28351.67	2.33	2.95	2.89	33009.56	4158.56	▲0.08	0.40	1.11	2.25	3701.06	91.48	1763.47
22/9	143.21	141.78	0.9899	▲0.0486	▲0.01	0.24	27418.99	2.56	3.45	3.51	30649.56	3850.52	0.36	1.01	1.83	3.40	3466.19	83.80	1681.47
22/10	147.13	144.84	0.9843	▲0.0495	▲0.02	0.25	26983.20	3.08	4.14	3.97	30570.68	3726.05	0.66	1.43	2.20	3.97	3464.58	87.03	1666.44